

私たちは“まち医者”

カラダ まちを的確に診断し、市民と一緒に

暮らし続けられるまちを目指します！

Point1

可視化をフル活用！

Point2

若者に届く情報発信

Point3

戦略的なまちづくり

Point4

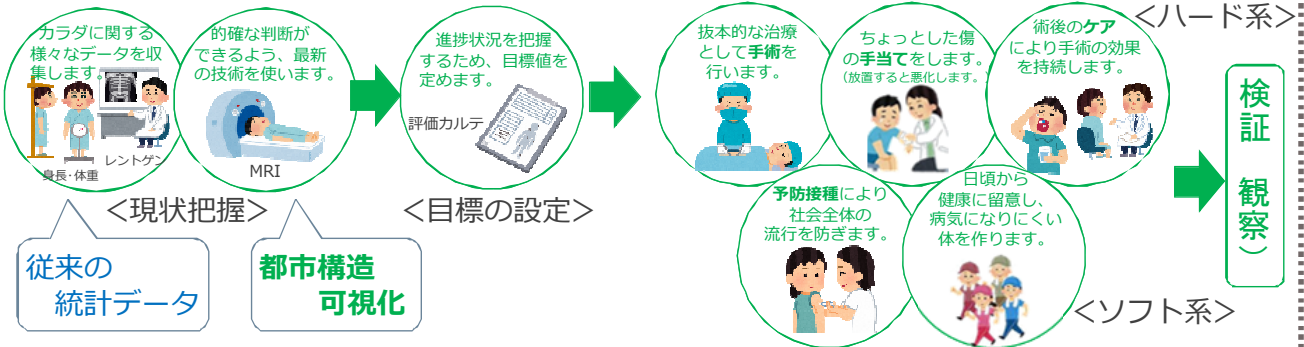
ついでに担い手育成！

まちの診断には『都市構造可視化』が有効です

診察

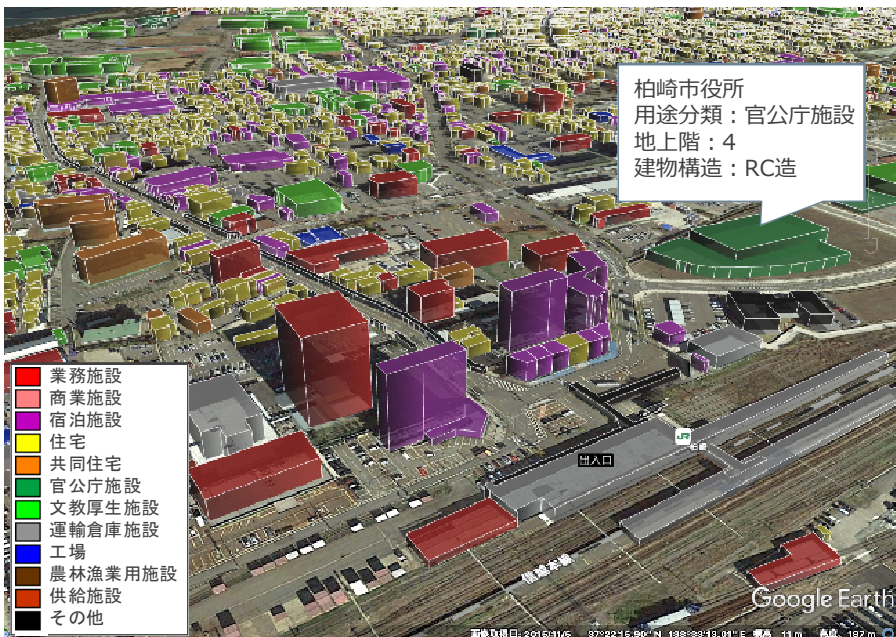
診断

処置 (立地適正化計画)



都市計画基礎調査の費用を軽減！

都市計画基礎調査 → 自治体税務情報 × 都市構造可視化



↑ Google Earth 上で建物特性を持った3次元のまちを作成

補注：Google Earth/Data Japan Hydrographic Associationを使用

⇒立地適正化計画の検討に活用
⇒まちなかの暮らしづらさ解消のための取組・現状分析に活用予定

税務情報と連携

- 建物用途
- 階数
- 構造

MANDARAでデータ編集
kmlファイルを作成

3次元で可視化

建物特性を持った3次元のまちを作成
明瞭化されたまちを多様な角度から分析

R4年度の展望

空き家、空地情報を追加し、データベース化
ランドバンク事業を検討する資料として活用予定

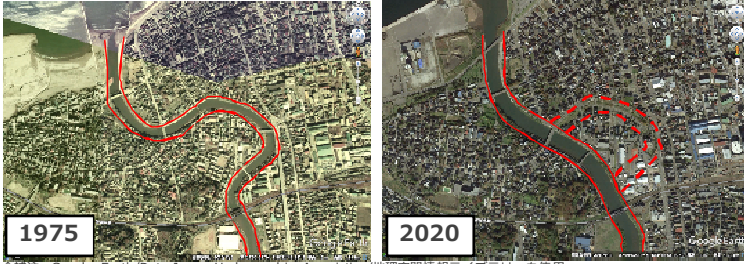


担い手育成（中学生）

まちづくり地域学習の場で活用

まちづくりに興味を持つ
子どもたちが増えた！地域学習に最適！

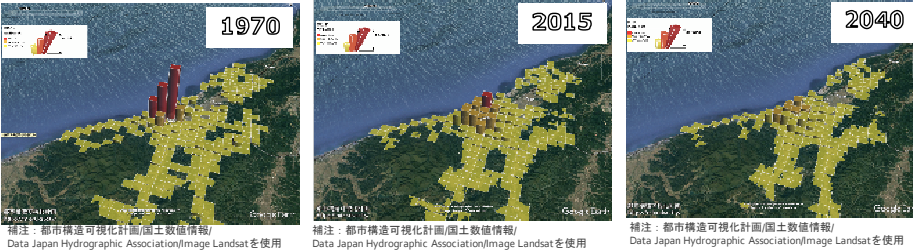
事例①：まちの形の変化



←補注：Google Earth/
Data Japan Hydrographic
Association
/地理空間情報ライブラリー
使用

河川氾濫を経験し、より安全なまちへ⇒自分の家が昔、川だった生徒も
⇒まちづくりに興味関心をもってもらう

事例②：人口分布の経年変化



駅周辺に集中していた人口が郊外に分散。1970～2015年にはピーク時から半減

i-都市交流会議2022

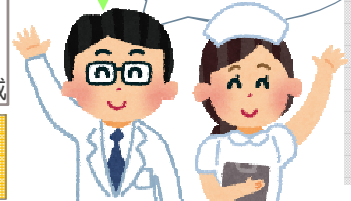
⇒将来、柏崎市を担う
子どもたちへのまちづくり授業に活用

うわー！すごーい！
私たちの地元って
こんなまちだったんだ！



〇〇年後

もっと暮らしやすい
まちにするぞ！



担い手育成（大学生）

新潟工科大学の授業で活用 （タブレット）

将来の担い手を育成
市役所への就職を目指す学生も出てきた！

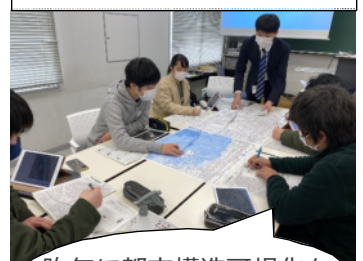
地元大学2年生とiPadを使った都市計画演習の授業



故郷の分析結果を発表



グループワークで防災まちづくり



昨年に都市構造可視化を
学んだ3年生たち



i-都市交流会議2022

⇒2年生では、都市構造可視化を活用したまちの特性把握
3年生では、都市構造可視化を活用したまちづくりの提案を実施